

とっておきの新居浜検定 問題用紙

(午後1時30分開始 制限時間60分)

第11回 中級

注意事項

1. 解答用紙の記入にあたっては、HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシルを使用する。
2. 解答はすべて答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。
3. 【 】にあてはまる語句を答案用紙に記入すること。その際に、ひらがなで記入しても可とする。

令和2年11月1日(日)

新居浜商工会議所

新居浜検定事業運営協議会

(問題1)

新居浜市制【 問題1 】周年を記念して市花は「つつじ」、市樹は「くす」が選定されました。

(問題2)

天正13年7月、羽柴(豊臣)秀吉の四国攻めに遭い、その武将小早川隆景の攻略により落城、【 問題2 】は宇摩、新居2郡からなる軍を統率して氷見高尾城に逃れ小早川の大軍を迎えて敗れました。

(問題3)

白頭山河内寺は、東予地方屈指の古刹で、【 問題3 】時代の創建といわれています。境内には巨大な礎石が残っており、七堂伽藍を具備していた大寺院と推定されます。境内各所から白鳳時代の百濟式瓦や、法隆寺式瓦が多数採集されています。

(問題4)

一宮神社のクスノキ群は、国指定天然記念物になっていますが、参道や社殿の周囲には約何本あるでしょう。

(問題5)

国領川の支流・西種子川の上流には魔戸の滝、渦井川の上流には銚子の滝があり、いずれも市指定の名勝となっています。愛媛県指定名勝「別子ライン」には清滝がありますが、その清滝の落差は約何mでしょう。

(問題6)

上部鉄道は、明治26年(1893)日本最初の山岳鉱山鉄道として、角石原から石ヶ山丈まで5,532mありました。カーブは何ヶ所あったでしょう。

(問題7)

(問題6)の上部鉄道の平均速度は時速約何kmだったでしょう。

(問題8)

(問題6)の上部鉄道は、当初、ドイツ製の機関車2両、客車1両、貨車15両が購入されましたが、この蒸気機関車の製造メーカー名を書いてください。

(問題9)

昭和12年(1937)別子銅山開坑250年記念の来賓を迎えるために、京風数寄屋造りの味わい深い純和風の接待館として新居浜市北新町に建てられ、その後、一部がマイントピア別子に移築された建物の名称を書いてください。

(問題10)

端出場鉄橋(打除鉄橋)は明治26年(1893)に下部鉄道開通に合わせて鉄道関係の設計技師である小川東吾により、鉱山専用鉄橋として設計され、ドイツの会社から輸入し、製作されました。そのドイツの会社名を書いてください。

(問題11)

別子山中や新居浜の製錬所から出る亜硫酸ガスによって森林や農作物が枯れる煙害問題に対処するため、年間100万本を超える植林事業を進めるなど、わが国の環境対策を行った草分け的人物の名前を書いてください。

(問題12)

日本の鉱山で初めてダイナマイトを使用して掘られた輸送用トンネルの名称を書いてください。

(問題13)

別子山地区において、別子銅山閉山まで使用されていた坑口の名称を書いてください。

(問題14)

東平接待館は東平坑閉坑までの61年間利用されました。接待館には川田順(歌人)や【問題14】(俳人)のほか土井晚翠(詩人)といった各界の著名人が訪れました。

(問題15)

端出場水力発電所は、明治45年(1912)、わが国最大級の出力【問題15】kwで建設されました。約597mの有効落差を利用して発電が行われ、これは当時、東洋一の落差でした。

(問題16)

大露頭は、【問題16】と呼ばれる黄銅鉱を主とした層状硫化鉄鉱が露出したものです。

(問題17)

明治38年(1905)、東平から新居浜側の黒石への索道ルートが出来ましたが、その後端出場へルート変更したのは【問題17】年でした。

(問題18)

旧広瀬邸は、明治中期の大規模和風住宅で平成15年(2003)新居浜市として初の国の【問題18】に指定されました。母屋は、明治10年(1877)に久保田町に建設されましたが、同18年から20年にかけて現在地(上原)へ移転しました。

(問題19)

東平の索道は動力を使用せず、【 問題19 】を下ろす重さを利用して生活物資等を下から荷揚げしていました。

(問題20)

第三通洞は、明治27年(1894)から建設作業を始め、同35年に完成しましたが坑道の長さは何mだったでしょうか。

(問題21)

松神子の豪農小野家に生まれ、明治26年(1893)に東浜産塩株式会社を設立して社長となり、製塩業に取り組んだ人物の名前は何かというでしょう。

(問題22)

多喜浜小学校内にある「ソルティ多喜浜」で再現されている製塩の仕組みは何式でしょう。

(問題23)

天野喜四郎元明らと共に多喜浜塩田の開発のために備後から移り住んで以来、塩田地主として塩田経営に尽力し、国策により廃田となる昭和34年(1959)まで嘗々と製塩業に従事したのは何家でしょう。

(問題24)

「この濱を拓きし人の面影を語り伝えや松よ蘇鉄よ」この歌の作者は誰でしょう。

(問題25)

近世、松神子村の庄屋を務め、多喜浜塩田の地主でもあった「小野家」の屋号は何と言われているでしょう。

(問題26)

多喜浜塩田開基・天野喜四郎元明翁の顕彰碑が、新居浜文化協会により、昭和45年(1970)に【 問題26 】に建立されました。揮ごうは、鷲尾勘解治で、屋敷の一角にある雌株のソテツは、享保8年(1723)、天野喜四郎元明がこの地に居を構え、ここを本拠として塩田の開発に当たったことを記念して植えられたものです。

(問題27)

多喜浜塩田において、塩を溶かした後の砂を地場に広げる作業を何かというか書いてください。

(問題28)

新居浜市内の太鼓台は、各地区太鼓台運営委員会(協議会)に所属していますが、そこでは主にどのようなお祭りとするための申し合わせ事項を決定しているでしょう。

(問題29)

【 問題29 】年に作られた太鼓台の謡「ちょおうさじゃ」は、都はるみの威勢のよい歌声が太鼓祭りを盛り上げます。

(問題30)

太鼓祭りの最終日に川西地区で五穀豊穰と大漁祈願を分けて隔年交代で行い、海神に詣でる年に行われる行事が【 問題30 】です。

(問題31)

【 問題31 】年、第21回チンゲイ・パレードがシンガポールで開催され、久保田太鼓台が参加しました。

(問題32)

布団締めの龍の立体刺繍は、立龍で「【 問題32 】」「雄龍・雌龍」「昇龍・降龍」「降雨神設」と諸説があります。

(問題33)

森林公園ゆらぎの森の園内には日本最大級のパーゴラ（藤棚）がありますが、その直径は何mでしょう。

(問題34)

マリパーク新居浜は、平成18年（2006）に四国初の「海の駅」に認定され、平成30年（2018）7月には、何に登録されたでしょう。

(問題35)

毎年元旦、銅山の守護神としてお祀りした大山積神社に、良質の銅鉱石を奉獻し、作業の安全と銅山の繁栄を祈る行事は【 問題35 】です。

(問題36)

大島のとうどおくりのときに焚火をしながら作るご馳走で、「これを食べてようやくとうどが終わる」といわれ、子供たちが楽しみにしている食べ物は何か書いてください。

(問題37)

かぶと踊りは、船木校区に伝わる【 問題37 】の踊りで、リズムに合わせて腰を前かがみにして手足を動かし、それを繰り返す悠長な踊りであり、太鼓のみでリズムを取るのも特徴の一つです。

(問題38)

古くからの伝統として嫁入りをする時、お嫁さんの「おいり」と言われる米菓子を持っていく風習がありますが、この辺りで呼ばれている別の名称を書いてください。

(問題39)

江戸時代から新居浜一帯で多くとれていた小えび、小魚をすり鉢で練り、豆腐と合わせて油であげて食べる食べ物は、何でしょう。

(問題40)

ふぐざくは、フグの身や皮をきざみ、ネギ、【 問題40 】、ポン酢、紅葉おろしを混ぜ合わせて食べます。

(問題41)



住友重機械搬送システム株式会社が提供しているものの中には、造船所における最も重要な運搬設備であるゴライアスクレーンがありますが、左の写真のゴライアスクレーンは何トンの吊り上げ能力を有しているでしょう。

(問題42)

【 問題42 】は新居浜ものづくりブランドに唯一団体として認定されています。

(問題43)

「この銅山を神とし仰ぎ幾代かも堀りつぎて来たしことの畏こさ」と詠んだ俳人の名前を書いてください。

(問題44)

生子橋のたもとに河東碧梧桐の句碑「きミを待した与【 問題44 】散る中を歩く」が建っています。【 】に入る言葉は何でしょう。

(問題45)

「土佐越の遠登志の橋や山桜」と詠んだ俳人の名前を書いてください。

(問題46)

新居浜の方言で「帰ります」を意味する言葉を書いてください。

(問題47)

新居浜の方言で「てんこつ」を意味する言葉を書いてください。

(問題48)

読売巨人軍の監督をした藤田元司は、東京六大学で活躍し、卒業後は社会人野球でも活躍した経歴の持ち主です。どこの大学の出身でしょう。

(問題49)

新居浜村議、町議、町長、初代市長として連続45年間、自治行政に尽くした人は誰でしょう。

(問題50)

一宮神社の中で神様として祀られている小女郎狸が変化したという「美しき姫」は今でも街の中で見られますが、何という通りで見られるか書いてください。